

2025 大阪・関西万博石見神楽公演視察の報告について (浜田市議会石見神楽振興議員連盟)

1. 日 程 令和 7 年 6 月 19 日 (木) ～ 6 月 20 日 (金)
2. 会 場 万博敷地内の EXPO ホール (愛称：シャインハット)
3. 催事タイトル 石見神楽「大蛇」降臨！受け継がれる情熱の軌跡
石見神楽を創り出したまち浜田
4. 観覧公演 6 月 19 日 (木) 公演 1 回目 18 時～20 時
6 月 20 日 (金) 公演 2 回目 10 時 30 分～12 時 30 分
5. 参 加 者 浜田市議会石見神楽振興議員連盟 17 人(うち川神議員は舞手で参加)
6. 内容・感想等

- ・ 55 年ぶりの万博公演にちなみ、55 頭による「大蛇」をはじめ、4 演目が披露され、いずれの回も約 1600 席が埋まり、スタンディングオベーションが起こるくらいの大盛況ぶりであった。また、公演開始前から会場外に長蛇の列ができ、なかには入場できない方々もおられるくらいであった。
- ・ わかりやすいストーリーと迫力ある石見神楽のこの上ないパフォーマンスに感動した。自信をもって国内外に発信できる伝統芸能であり、かつ、伝統文化であることを確信した。
- ・ 公演終了後には参加議員全員で、観客を見送り、公演観覧のお礼と石見神楽をはじめ浜田市の PR を行った。
- ・ 見送りの際には、多くの観客からどこに行けば石見神楽を観れるのか、浜田に行けば石見神楽がいつでも観れるのか、という声をいただいた。
- ・ 伝統の舞とデジタル演出という新しい手法が融合した未来の神楽の形の一つとして魅力的だった。
- ・ 連盟の目的としている「浜田市の先人が生み育て、地域の人々が愛して止まない「日本遺産 石見神楽」を振興し、もって魅力ある地域づくりと地域経済の再生を図ること」の必要性を再認識した。
- ・ 市内神楽団体の強い結束力（意気込み）を強く感じ、今後各エリアの神楽団体のネットワークの強化の必要性を感じた。さらに、この神楽を未来へつなぐためにも、舞・舞手・楽人の後継者育成が必要であると思った。
- ・ 今回の EXPO ホールでの神楽上演を見ながら、神社で行われる奉納神楽（神事）の重要性を改めて感じた。
- ・ 石見神楽について様々なツールを活用して、市民向けはもちろんのこと、国内外への積極的な情報発信が必要であると感じた。
- ・ 絢爛豪華な神楽衣装、石州和紙による軽量かつ強靱な蛇胴や神楽面など、石見神楽を支える神楽産業、ものづくり技術の保存・継承が必要であると感じた。

